

# 文化財 せんだい



No. 130

令和3年(2021年)7月発行  
仙台市教育委員会文化財課  
仙台市青葉区上杉一丁目5-12  
上杉分庁舎 10階  
〒980-0011 Tel:022-214-8893  
仙台市文化財課

## シリーズ仙台城特集 第4回

多くの市民の皆様から関心を寄せられている仙台城跡の調査成果等を、今年度もシリーズで紹介いたします。今年度最初となる第4回は、仙台城跡の築城期の正面に位置する堀跡の発掘調査速報です。

### 仙台城跡 埋没堀の発掘調査

この調査は、現在仙台市博物館がある東丸(三の丸)の東側に位置する<sup>おいまし</sup>追廻地区で実施しました。絵図を見ると、かつては<sup>たつみもん</sup>巽門の東側に水堀がありました。この水堀は、土塁を併設したL字状の形をしています。

今回の発掘調査では、埋没した堀の岸を確認することが出来ました。堀の斜面には、木杭や護岸用に積んだと思われる石もあわせて見つかりました。この堀は、明治時代に軍が仙台城に入った際に埋められたようです。実際に調査から、軍が土塁を崩して堀を埋め、<sup>れんべいじょう</sup>練兵場にするため平坦にした形跡が当時の地層から読み取ることができました。



東丸

絵図上の調査地点



拡大図

巽門

絵図にみる埋没堀  
仙台城下絵図 寛政元年頃(仙台市博物館蔵)



市博物館

国際センター

絵図から見た  
堀の推定範囲

埋没堀 発掘現場の全景(南から)



調査で見つかった堀の岸の部分

# スペシャル 仙台市民俗芸能SP

## 第34回民俗芸能のつどいを開催!!

仙台市内には、地域の歴史や文化の香りを色濃く残す23件の無形民俗文化財が、25団体(保存会)によって継承されています。

令和3年2月13日(土)、宮城野区文化センターにて開催された「第34回民俗芸能のつどい」では、神楽の継承に取り組む4つの保存会にご出演いただきました。

神楽は、天下太平や無病息災、五穀豊穰などを祈って舞われるものです。今回は、国作りの神話などを題材とした演目が演じられ、会場内には厳かな空気が流れていました。

新型コロナウイルス感染症対策として、入場者を定員の半分にしたものの、客席からはそれと分からないほどの大きな拍手が惜しみなく送られました。活動の自粛が続いていた保存会の皆さんにとって、この拍手は大きな励みとなったそうです。

民俗芸能の所作やお囃子は、長い歴史の中で育まれてきた、その土地独自のものです。「民俗芸能のつどい」は、その存在と文化的価値を多くの皆様に知っていただく機会として、毎年一回開催しています。一朝一夕には身につかない「ワザ」と、出演者のエネルギーを体感しに、ぜひ足をお運びください。

## 第34回民俗芸能のつどいに出演された団体



ほこ まい  
「鉾 舞」

### さかまりゅうあお そ 神流青麻神楽保存会

文化4年(1807)、第32代神主が京都にて神楽を伝授されたと伝えられ、利府町入菅谷に居住した社人12家が演じてきました。高度経済成長期の後継者難を乗り越え、昭和50年ごろから宮城野区岩切の青年らが中心となり今に伝えています。

現在は、春秋にある青麻神社の例祭に神楽殿にて、全14番のうち数番ずつが演じられています。



じゅうじんどう  
「小弓遊」

### 秋保神社神楽保存会

演目は12番が伝わり、足踏みの型や手で形作る印相に呪術的な要素をみることができます。

県下でも希少な例として「湯立神事」が演じられています。秋保神社の例大祭での奉納の最後には、舞台の前で沸かしていた釜から、舞人が笹で湯を大きく振りかけます。この湯を浴びると息災になると伝わり、住民たちがこぞって集まります。



たねまき  
「種時の舞」



じん ばい  
「神 拝」

おいでもりはちまん  
**生出森八幡神楽保存会**

明治24年(1891)ごろに、茂庭の住民らが名取市の熊野神社に伝わる熊野堂神楽を習い覚えたことに始まります。

奏楽、舞型などに熊野堂神楽の特色をよく残していて、「神招之舞」など直面(神楽面をつけない状態)で演じる演目も多くあります。また、神楽殿の天井の中央(略式の場合は柱)から「らんりつ」もしくは「天幕」と呼ぶ舞台飾りを吊るすことも特徴的です。

**大崎八幡宮能神楽保存会**

“法印神楽”の一派である“異伝の法印神楽”として、県央部で唯一現存する神楽です。摺るような足の運びが能楽の舞の所作に似ていることから、「能神楽」と呼ばれるようになったと言われています。

太鼓打ち(胴取り)が神歌を歌い、演目「四天」では舞人が神謡と呼ばれるセリフを唱えるなど、他の系統の神楽にはない特徴がみられます。また、大崎八幡宮の例祭日にのみ設えられる舞台飾りも見どころのひとつです。

なお、舞台となる長床も国の有形文化財に指定されています。

**今年度の予定**

**令和3年度「第35回民俗芸能のつどい」**

日程：令和4年2月12日(土) 13時30分開演予定

会場：日立システムズホール仙台(青年文化センター)シアターホール

出演：仙台市内の民俗芸能4団体程度

※詳細は令和3年秋ごろ、市文化財課ホームページや、市政だよりでお知らせします。



榊流青麻神楽



生出森八幡神楽

## 見かけたら…やさしく見守ってください!! 特別天然記念物「ニホンカモシカ」



「ニホンカモシカ」を見かけたら  
近づかない 逃げ道をふさがない 見守る 驚かせない

ニホンカモシカは、ウシ科に属する日本固有の草食動物で、北海道・琉球列島を除く日本列島に生息しています。乱獲のため数が減少し、昭和30年に『特別天然記念物』に指定され、特定の地域を定めず保護されています。

例年、仙台市内各地でニホンカモシカの目撃情報が多く寄せられています。ニホンカモシカは野生動物の中でも比較のおとなしく、人に危害を加えることはほとんどありません。また、帰巢本能があり、多くの場合そのうち山へ帰っていきます。

ニホンカモシカを見かけた際には、やさしく見守ってください。

もし、**病気やけがをして動けないニホンカモシカや、死亡しているニホンカモシカを見つけた場合は市文化財課までお知らせください。**

自然環境の豊かな仙台に住むニホンカモシカの保護に、ご理解とご協力をお願いします。

キーワード とくべつてんねん きねんぶつ 【特別天然記念物】

天然記念物の中でも、特に重要なもの。日本特有の動植物などが指定される。その他にはライチョウ、トキなどが挙げられる。

## 出前授業・出前講座 ご利用ください



### 〈出前講座(昨年度例)〉

「遺跡等から学ぶ災害の歴史」、「調査から分かる政宗の城～仙台城～」  
「陸奥国分寺はなぜ仙台につくられたのか」、「旧石器時代の仙台」  
「長町駅東遺跡の発掘調査について」、「仙台の遺跡」

その地域ならではの内容に絞ったものから幅広く概要的なものまで、様々なテーマで講座を行っています。



文化財課では、出前授業や出前講座以外にも、地域や学校のご要望に応じて様々な事業を行っています。お気軽にお問い合わせください。

## 今年度の主な発掘調査(実施・実施予定)の遺跡

- ・高江遺跡(宮城野区)
- ・仙名城跡(青葉区)
- ・日向遺跡(青葉区)
- ・羽黒前遺跡(宮城野区)
- ・郡山遺跡(太白区)
- ・陸奥国分寺跡(若林区)
- ・山田上ノ台遺跡(太白区) など

調査の結果は次号以降にご紹介します。

・新型コロナウイルスの流行状況により、当課の事業、イベント等につきましては中止や延期となる可能性があります。最新の情報は当課ホームページやお電話等でご確認ください。(表紙上部記載)